



# 積雪寒冷地における道路の計画・設計・建設・維持管理を踏まえた 道路景観向上のための技術支援ツール

研究成果を基にした

支援ツール  
Support Tool

北海道の道路デザインブック(案)/北海道における道路景観チェックリスト(案)

## はじめに

寒地土木研究所では「日本風景街道」の先駆けとなる「シーニックバイウェイ北海道」(委員会設置:2005.2～)の推進などをうけ、道路景観の向上に資する「北海道の道路デザインブック(案)」及び「北海道における道路景観チェックリスト(案)」を発刊してきました。これらは、現場技術者のみならず道路景観向上を目指す地域団体の方々にも使用され好評を得ています。

今回、作成から一定期間経過したことから、両資料の改訂を行いました。

## 改訂履歴

|         |                       |                        |
|---------|-----------------------|------------------------|
| 2004.12 | デザインブック初版             | (発行:北海道開発局、寒地土木研究所)    |
| 2007.3  | デザインブック二訂版            | (発行:北海道開発局、寒地土木研究所)    |
| 2010.4  | デザインブック三訂版、チェックリスト初版  | (発行:寒地土木研究所 協力:北海道開発局) |
| 2019.3  | デザインブック四訂版、チェックリスト改訂版 | (発行:寒地土木研究所)           |

## 今回の改訂に際してのポイント

- ポイント1** 近年の道路景観に関連する新たな法律・施策等の動向や社会ニーズを踏まえた内容の充実
- 「道路デザイン指針(案)」を始め前回改訂版発行以後の各種基準改定や知見を反映
- ポイント2** 道路インフラを取り巻く社会環境の変化や将来を踏まえ、
- ①持続可能性
  - ②取り組みやすさと実現性
  - ③地域貢献(主に観光)
- を新たな柱として記載内容を充実

## 北海道の道路デザインブック(案)



| 【目次】  |                |
|-------|----------------|
| 理念/手法 | 本書の活用にあたって     |
| 第1章   | 景観整備の意義        |
| 第2章   | 北海道の景観特性       |
| 第3章   | 道路デザインコンセプト    |
| 第4章   | 道路デザイン手法       |
| ルール   |                |
| 第5章   | 道路線形           |
| 第6章   | 道路断面           |
| 第7章   | 構造物            |
| 第8章   | 道路附属物および道路占用物等 |
| 第9章   | 緑化             |
| 第10章  | 休憩施設           |
| 第11章  | 事業連携           |
| 第12章  | その他の留意事項       |
| 第13章  |                |
| 参考資料  |                |
| 資料1   | 北海道のみちづくり・補足   |
| 資料2   | 用語の定義          |
| 資料3   | 視覚的分析手法        |
| 資料4   | デザインツール        |
| 資料5   | ケーススタディ        |
| 資料6   | 事例写真集          |

(四訂版:2019.3)

▲道路景観を考える際に必要な知識や情報を網羅的・教科書的に記載し、以下の内容を示しています。

北海道の景観特性や道路景観向上のための  
基本理念

これまでの研究成果などを元にした具体的な事例

景観改善における優先順位の考え方 など

## 北海道における道路デザインの基本理念

### 道路景観形成の共通目標

地域との調和

環境への影響・負荷の軽減

美しさの洗練と持続

### 景域ごとの目標像・留意点

山間  
景域

丘陵  
景域

海岸湖沼  
景域

平地自然  
景域※

平地田園  
景域

市街地  
景域

※北海道独自の景域

◀地域の景観特性や道路の成り立ちを良く理解し、道路本来の機能や安全を満たしながら美しい道路を創り出す必要があります。

◀そのため、北海道において配慮すべき共通目標をたてたうえで地域特性と景観特性から6つの景域にわけ、景域毎に目標像・留意点を設定しました。

## 本書の位置づけ

### 全国共通の指針

### 北海道の地域特性を生かした実践的な景観向上策



本書は、下記のウェブサイトからダウンロードすることが出来ます。

URL <http://scenic.ceri.go.jp>

## 道路デザイン手法: 景観特性の把握

|                | 役割          | 意義                              | 評価項目                      |
|----------------|-------------|---------------------------------|---------------------------|
| 内部景観<br>(走行景観) | 道路自体が視点場となる | 道路利用者に魅力的な景観を提供する               | ①道路自体の構図的な美しさ<br>②周辺景観の資質 |
| 外部景観           | 道路自体が視対象となる | 沿道住民や道路周辺で活動している人々に良好な道路の姿を提供する | ③重要な視点場からの眺め<br>④見られ頻度    |



▲「景観特性の捉え方」など、景観向上を検討する際の基本的事項についても記載。

### 記載事例

### ルールの実践例(具体の技術事例)



▲例えば、「道の駅」のレイアウト検討にあたって、施設配置による印象の違いや、駐車場の計画設計を「模型」で示した事例。

## 北海道における道路景観チェックリスト(案)



| 【目次】         |  |
|--------------|--|
| ・道路線形編:21編   |  |
| ・道路断面編:9編    |  |
| ・道路緑化編:13編   |  |
| ・道路附属施設編:27編 |  |
| ・維持コスト削減編:8編 |  |
| ・その他編:2編     |  |
| ・海外事例        |  |

◀景観改善のポイントをチェックリスト形式で解りやすく解説し、以下の内容を示しています。

(改訂版:2019.3)

写真やイラストを活用し、現場技術者が課題や改善例を直感的に理解

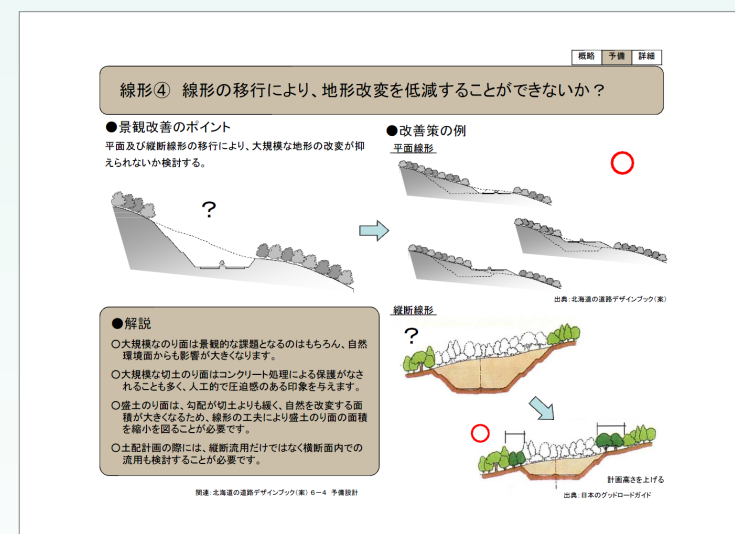
項目毎のタイトルを疑問形として、必要な改善策を見つけやすくする工夫

現場での道路景観の診断に利用しやすいよう  
項目毎に一枚で簡潔に構成 など

### 記載事例

### 景観改善のポイント(具体事例)

本書では、取組事例を「景観改善のポイント」として、写真やイラストをベースに解りやすく解説。



◀道路線形に起因するさまざまな課題と、これに対応した具体的な改善策をイラストや写真で示しています。

### 道路附属施設について

いは、現場技術者からのニーズが高く、特に多くの事例を記載。  
さらに、維持管理や交通安全の向上効果につながる手法も示しています。

